日野町ため池ハザードマップ

娑婆谷池（日野町大字 中山）

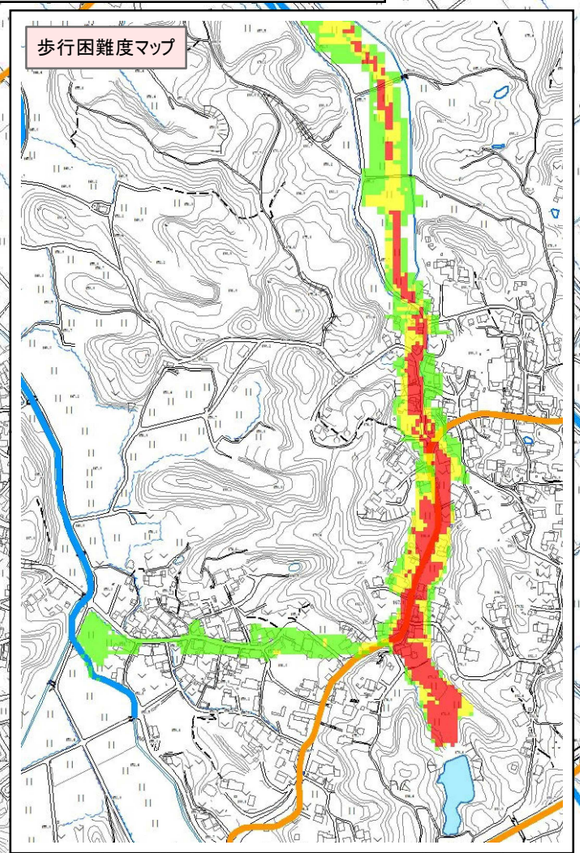
地震の発生後は ため池決壊の恐れがあるので高いところなどに避難しましょう

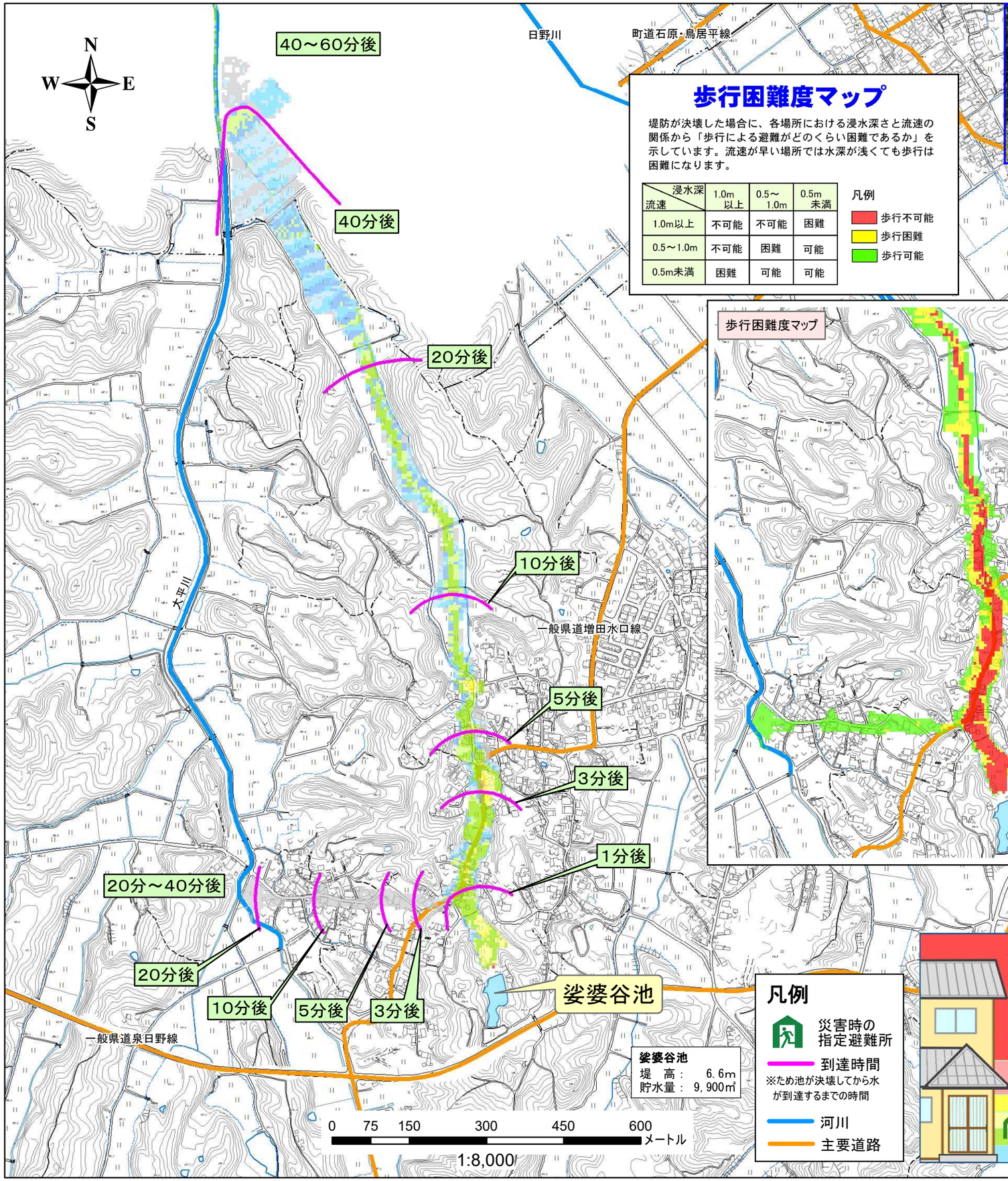
歩行困難度マップ

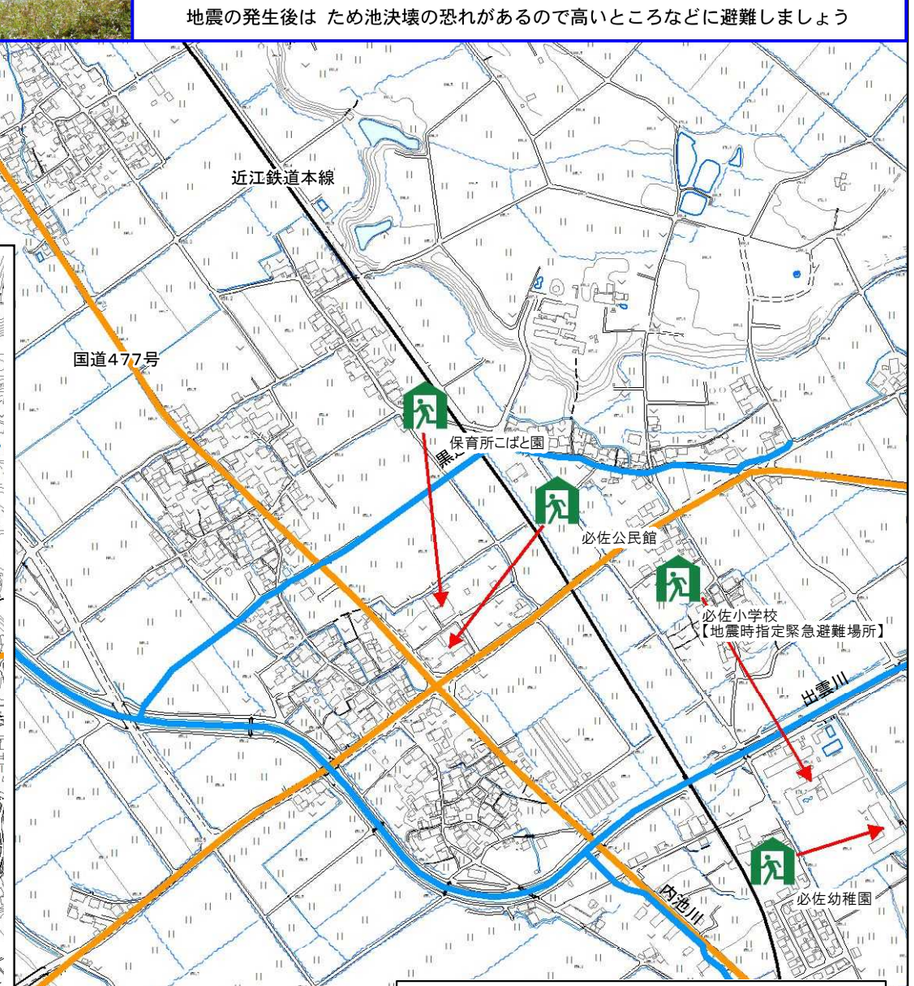
堤防が決壊した場合に、各場所における浸水深さと流速の関係から「歩行による避難がどのくらい困難であるか」を示しています。流速が早い場所では水深が浅くても歩行は困難になります。

流速＼浸水深	1.0m以上	0.5～1.0m	0.5m未満
1.0m以上	不可能	不可能	困難
0.5～1.0m	不可能	困難	可能
0.5m未満	困難	可能	可能

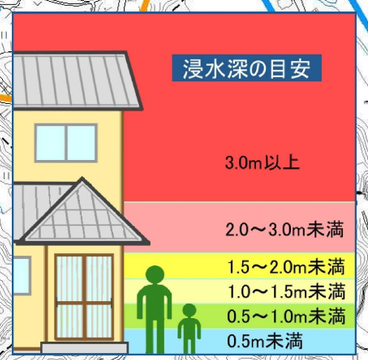
凡例
- 歩行不可能
- 歩行困難
- 歩行可能







凡例
- 災害時の指定避難所
- 到達時間
  ※ため池が決壊してから水が到達するまでの時間
- 河川
- 主要道路



凡例

最大浸水深
- 0.001 － 0.099m
- 0.100 － 0.199m
- 0.200 － 0.299m
- 0.300 － 0.399m
- 0.400 － 0.499m
- 0.500 － 0.999m
- 1.000 － 1.499m
- 1.500 － 1.999m
- 2.000 － 2.999m
- 3.000m以上

ため池ハザードマップについての説明

◇この地図は地震によりため池が決壊し、ため池の水が一気に流れてきた場合を想定して、浸水区域、最大水深、到達時間を表示したものです。水深は時間とともに変化しますので、その最大の水深を表示しています。

◇浸水区域や到達時間は地震の規模やため池の状態によって変わります。ため池の決壊は地震発生後いつ起こるのかわかりません。到達時間は決壊からの時間（図中「〇分後」の数字）を表しています。

◇大きな地震の時は浸水する場所から至急に避難できるように日頃から備えておくことが重要です。

◇非かんがい期に、ため池の水位を下げておくことも安全対策のひとつになります。

◇解析結果は浸水範囲がやや大きくなる傾向がありますが、大雨時と重なった場合などを想定していませんので、大雨時には周辺河川などの増水と合わせ、浸水が着色した範囲外に及ぶことも考えられます。地震単独時よりもさらに注意が必要です。